



闘春



一昨年より未知のウイルスが次々と変異して、感染拡大が波のように繰り返すコロナ禍、感染リスクを背負いながら、エッセンシャルワーカーとして、「命を守る」「生活を守る」ことを価値基軸に実践してきました。

そのような中、JR東日本会社は、「柔軟な働き方」「ジョブローテーション」を通じて、人命を輸送する鉄道会社でありながら「特殊性」を自ら放棄・排除に向けています。このような会社と組織力によって向き合い、「特殊性」の賢持を通じて、安全な輸送、安心な医療を創造し、安定した生活をつくりだしていきます。

気候変動問題についても、アメリカで起きた季節外れの竜巻など、世界各地で異常気象が続いていて、人間生活を脅かしています。SDGS（持続可能な開発目標）を応援している輸送サービス労組新宿支部して、未来の子ども達が、普通の生活を送れる地球環境を残す為、議員懇談会などと連帯し共に運動をつくりまします。

本年も共に「安全」「いのち」「組合員の利益」を守るため、組織強化・拡大をかちとりましよう。

二〇二二年 元日

JR東日本輸送サービス労働組合新宿支部

